

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。
研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

肝細胞癌に対する体幹部定位照射後の予後と有害事象についての観察研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 放射線科 (研究責任者)前林 俊也

<研究期間>

承認日 ~ 2019年12月31日

<研究の目的と意義>

放射線治療はがん治療の一つとして有用であり、放射線治療装置の進歩により精度の高い手術的治療が行われています。特に体幹部において、肺癌に対して定位照射（ピンポイント照射）は標準治療の一つとなっております。近年、肝細胞癌に対しても定位照射が行われるようになっており局所制御が高い結果の報告が散見されております。そのため当院での治療成績と有害事象を把握し、これからの臨床に役立てたいと思っております。

<対象となる患者さん>

2014年1月1日～2017年8月31日の期間に3cm未満の単発肝細胞癌に対して放射線治療を行った症例

<研究の方法>

今回私達は3cm未満の単発肝細胞癌に対して体幹部定位照射を行った患者さんの診療記録を見直すことで、有害事象と治療方法やその後の予後を調査を行います。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1)

放射線科 氏名:前林 俊也

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2554 (PHS)8328